

Ⅲ. 褥瘡対策チーム

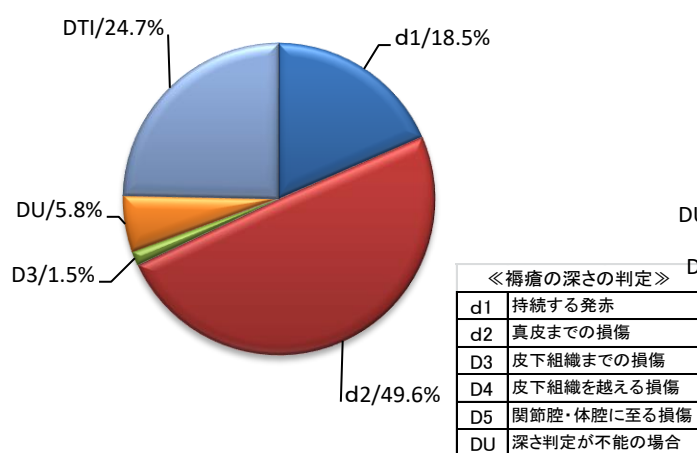


当院は急性医療総合センターを持つ特定機能病院であり、褥瘡ハイリスク要因を持つ患者さんが多い。

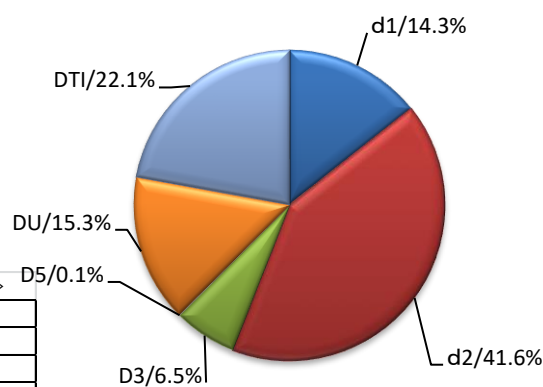
褥瘡対策チームは、褥瘡の発生予防と早期発見・早期治癒に向け多職種（皮膚科・形成外科医師、皮膚科・排泄ケア認定看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師）で構成されており、病棟看護師や褥瘡専任看護師と連携しながら活動を行っている。尾骨、仙骨、踵など荷重がかかる部位の発生が多く、早期発見のための観察や、ポジショニング、予防的保湿ケアに力を入れた教育活動を行っている。医療関連機器圧迫創傷では、弾性ストッキングによる発生や末梢ルート、サージカルマスク着用による耳介への潰瘍形成に対して対策を行った。

多職種で連携し、問題について取り組みを行い、各診療科や病棟へタイムリーにデータをフィードバックしていく。今後も病院全体で褥瘡発生率を低減するために、褥瘡の知識の共有及び啓蒙活動を積極的に行っていく。

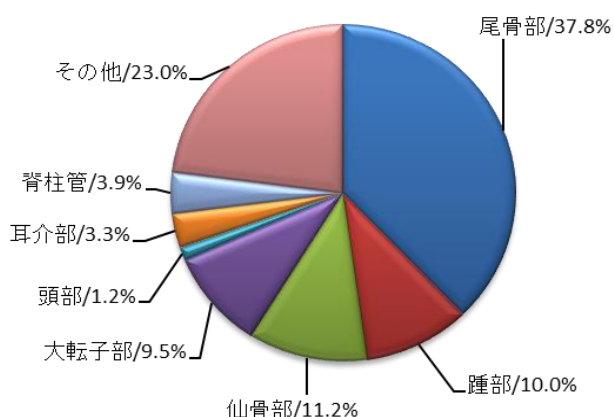
Ⅲ-1 2024年度深さ別発生率(新規発生褥瘡)



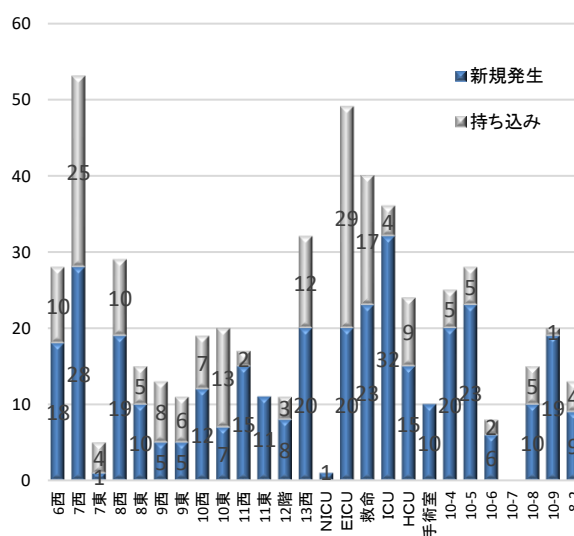
Ⅲ-2 2024年度深さ別発生率(持ち込み褥瘡)



Ⅲ-3 2024年度部位別褥瘡発生率(新規発生褥瘡)



Ⅲ-4 2024年度部署別褥瘡発生状況



※ 2018年度より部署別褥瘡発生状況に変更

Ⅲ-5 過去5年間の褥瘡発生率

区 分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
発 生 率	1.80%	2.13%	3.09%	1.24%	1.27%